上毛

6 こうげ町広報 Jun 2017 VOL.140

CONTENTS

● 町の掲示板 …… 2
● 町の話題 …… 14
● know「農」 …… 16
● カルチャー …… 17
● 町の情報ひろば …… 18
● 素敵人 …… 20

http://www.town.koge.lg.jp

町の宝 国指定に

成恒神楽講

唐原神楽講

友枝神楽講

町の花(春) 桜

町 の花(秋) コスモス

町の木 梅

●編集・発行／上毛町役場企画情報課
●印刷／築上印刷有限会社
〒871-0992
福岡県築上郡上毛町大字垂水1321-1
TEL 0979(72)3111
FAX 0979(72)4664

人の 動き

4月30日現在

●世帯数	3,175 (±0)
●男 性	3,665 (-3)
●女 性	4,080 (-6)
●人 口	7,745 (-9)
65歳以上	2,602 (±0) 33.6%
75歳以上	1,430 (+2) 18.5%

うち外国人

●人 口	32(+2)
●男 性	22(±0)
●女 性	10(+2)
●世帯数	29(+2)
	(うち混合世帯4)

参考

平成17年10月11日合併時

●人 口	8,499
●世帯数	3,057

ごみの量

4月30日現在

●可燃ごみ	126.80t (+2.46t)
●カン・ペットボトル	2.05t (-0.05t)
●びん	4.06t (-0.32t)
●古紙他	9.16t (-0.17t)
●可燃粗大	3.38t (-1.55t)
●不燃	9.18t (+2.82t)
●プラスチック製容器包装	1.96t (+0.38t)
●紙パック、白色トレイ	0.04t (±0t)

※( )内は前月増減

環境対応型植物油インキを使用しております。

こうげ素敵人 KOGE Nice person!

成恒神楽講長
上川 豊秋さん(成恒)

成恒神楽講は、明治中期より活動をしていましたが、昭和初期に戦争などによる人手不足で自然消滅。昭和54年12月に神楽再興に燃える地元の若者たちにより再興しました。現在は各地域の春・秋祭りのほか、各種イベントなどに参加させていただき、地域の皆さんに喜んでいただけるような神楽を心がけて活動しています。また、次世代への神楽の継承のため、子ども神楽の育成にも力を入れています。

成恒神楽講の特徴は何と言っても舞の力強さです。今回、豊前神楽保存連合会に加入し、国指定重要無形民俗文化財になったことで、これまで以上に技や力強さに磨きをかけ、先人の残してくれた神楽という素晴らしい文化をとぎれることなく永遠に継承できるよう努力してまいります。

友枝神楽講長
松山 秀木さん(西友枝)

友枝神楽講は、明治20年代から継承され、現在11名で活動しています。上毛町、吉富町、中津市を中心に年間約20カ所で奉納をしています。

今回、豊前神楽保存連合会に加入し、国指定重要無形民俗文化財に仲間入りしたことは、友枝神楽講を次世代に継承し、守っていかなければならないという身が引き締まる思いです。昔に比べ会社勤めの神楽舞が増えたため、奉納時に講員が集まることは難しくなりました。神楽の魅力を多くの方々に伝えるためにも、講員を増やし、多くの場所で神楽を披露していきたいです。友枝神楽講には、「二人御子舞(ふたりみこまい)」や「引入柴(ひきいれしば)」など珍しい演目も伝わっています。この伝統が途切れぬよう、10年前から子ども神楽の育成を始めました。毎週金曜日、地域の公民館で3歳から中学生までの12名で練習をがんばっています。応援よろしくお願いします。

唐原神楽講
宮本 雄一さん(下唐原)

唐原神楽講は、明治30年代後半に広沢渡氏より神楽を継承し、現在にいたっています。講員13名、子ども10名です。神社での奉納を中心にイベントや老人ホームで神楽などの活動をしています。私たち神楽舞の役目は氏子さまの願いや想いを神様に届けること。皆さまの想いを胸に精一杯奉納させていただいてます。

いろいろなことがあり溢れ、少子化のこの時代、神楽を継承するのは容易なことではありません。そこでこの度連合会に加入し、国指定をいただいたことは活動を継承するためにとても心強く、ありがたく思います。神楽を継承することは使命であり、責任があります。また次世代へ継ぐことは先人への恩返しだと思っています。これからも子どもたちに神楽を伝え、神様や皆さまが喜んでいただけるような神楽が舞えるように精進したいと思います。神楽のあるこの町に生まれて本当に良かったです。神様あっての神楽、皆さまあっての神楽。これからも応援よろしくお願いします。

町の未来を担う「上毛の宝」 ポッポ保育園

ポッポ保育園では保護者の皆さんや地域の皆さんのご協力のもと、保育士やお友だちと一緒に生活し、いろいろな体験を通して相手の気持ちや相手の話を理解できる思いやりのあるお子さんに育てていくことを目標としています。

一年間を通していろいろな行事があり、運動会では3、4、5歳児によるマーチングを取り入れ、毎日練習した成果を披露します。一生懸命に声をだし、演奏や演技をする姿はお子さんの成長を感じさせられるのではないでしょうか。また、年長児は専門講師による茶道、習字を毎週行い、物事に積極的に取り組む姿勢を身につけます。

これからも家庭や地域との連携を密にしてお子さんの成長のお手伝いができるような保育園を目指していきたいと思います。

※写真は花まつりの様子です。